

3/21 春のオープンキャンパス開催 見て、聴いて、話して、確かめる。 関西学院の魅力が満載の一日

3月21日(月・祝)、関西学院大学は春のオープンキャンパスを開催する。春のオープンキャンパスは、関西学院大では何を学べるのか、どのように成長できるのかを高校の早い段階から知ってもらうことを目的とし、関西学院大の特徴や実績を説明する説明会、各種入試制度に関する説明会、学び・学生生活・留学・奨学金など入試スタッフと相談できる個別相談コーナーなどを行う。

また、世界各国からの留学生とのワークショップや大学生が学部や大学生活について紹介するプログラムなど学生主催のイベントも行われる。

なお、同日には近畿地区のスーパーグローバルハイスクール校、SGHアソシエイト校27校が参加する「課題研究発表会」を開催し、約3,000名の来場を見込む。

■日時: 3月21日(月・祝)10:00~16:00

■場所: 西宮上ヶ原キャンパス

■問い合わせ: 関西学院大学 入試課 0798-54-6135

3/18 体育会功労賞授与式 スケート部・横山大希ら10名が功労賞を受賞

3月18日(金)、卒業式同日に体育会員の卒業式とも言われる体育会功労賞授与式が開催され、日本代表としてW杯などで活躍しているスケート部・横山大希(経済学部4年生)やサッカー部史上初の四冠達成に導いた主将でヴォルティス徳島に加入の井筒陸也(社会学部4年生)ら10名が功労賞を受賞する。

功労賞とは、4年間の体育会活動を通じて、各部または関西学院大学体育会の発展に大きく寄与し人物的に優れた者に贈られる体育会員にとってたいへん名誉な賞である。昨年度は角界入りし活躍する宇良和輝氏(2015年教育学部卒)も受賞。

なお、体育会42部・約2,400人が肩を組み、授与式の最後に歌う応援歌や校歌は圧巻で体育会ならではの光景。

■日時: 2016年3月18日(金)16時~

■場所: 総合体育館

■受賞者:

井筒陸也(社会・サッカー部)、荒川愛恵(文・サッカー部)、横山大希(経済・スケート部)、池田真由佳(社会・卓球部)、富山祥太郎(社会・ソフトテニス部)、渡邊翔太(人間福祉・バスケットボール部)、渡辺優香(教育・フェンシング部)、阪上真有(商・剣道部)、成田渚(総合政策・バドミントン部)、菅野友城(商・カヌー部)

高等部生、総務大臣賞狙う! 小中学生が使いやすい統計サイト提案



関西学院高等部1年生の佐々木雄司さん、小林優斗さん、中村紗彩さんらは3月5日、総務省統計局が主催する統計データ活用のアイデアを競うコンテスト「STAT DASH グランプリ」の最終選考会に出場した。

大量のデータがあふれる時代となり、質の高いデータを集めて活用する力を高めることは今後ますます重要になる。総務省統計局は、政府が作るべき統計活用のためのアイデアを昨年末から募集。佐々木さんらは、「行政サービス開拓部門」に応募し、総務省が設ける政府統計の総合窓口e-Statを小中学生でも簡単に活用できるようにするポータルサイト「e-Stat Junior」を提案した。

実際にe-Statを利用して使いづらかった体験や教育プログラムの開発に関心があったことから、「小中学生向けに使いやすくする」というアイデアはすぐに浮かび上がった。小中学校への取材を重ね、実際には統計を使って調べものをする例は少ないことが分かった。しかし、それは情報量が多すぎて小中学生が使いこなすには困難だからで、小中学生に特化した検索サイトがあれば、調べ学習などでのニーズが非常に高いことも分かった。

3人は、所属する数理科学部の社会人コーチ・福井昌則さんとともに小中学生が見やすいやわらかいデザインや色合いを心掛け、地域別分類やふりがなの表示など細部にこだわった機能があるポータルサイトを発表した。

最終選考会に残ったのは佐々木さんらを含め6チーム。大学教員や研究者、IT企業の技術者らが技術的なプレゼンする中、高等部生ならではの視点で出したアイデアは審査員たちにも新鮮に映ったようだ。

結果発表は、3月中旬予定。佐々木さんらは「トップの総務大臣賞を狙っています。僕たちのアイデアが実用化され、小中学生のデータ活用力の向上につながればうれしい」と語る。

次号 3月22日(火)発行予定

